

大阪府入札監視等委員会 入札監視第1部会 平成24年度第3回定例会議 議事概要

- 1 開催日時 平成25年2月15日(金) 午後1時30分から午後4時30分
- 2 場所 大阪赤十字会館4階 401会議室
- 3 出席委員 5名
- 4 審議対象期間 平成24年8月1日から平成24年11月30日まで
- 5 会議の概要 審議対象期間中の、入札方式別の発注案件の状況、入札参加停止措置等の状況、談合情報等の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。
 また、大阪府が契約締結した建設工事(予定価格250万円を超えるもの)、測量・建設コンサルタント等業務(予定価格100万円を超えるもの)、委託役務業務(予定価格100万円(物件の借入れについては、80万円)を超えるもの)、物品購入(予定価格160万円を超えるもの)総契約件数1,256件の中から次の13件を委員が任意抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

(抽出事案一覧)

入札方式		案 件 名	契約金額(円)
建設工事	一般競争	高木地区(24)ほ場整備補完工事	24,559,500
	一般競争	東豊浦町地区山腹復旧ほか(24・奥地)工事	20,716,500
	一般競争	都市計画道路 十三高槻線街路築造工事(正雀川東工区その2)	218,085,000
	指名競争	堺泉北港 汐見沖地区埠頭保安対策設備工事	170,488,500
	一般競争	都市計画道路 堺松原線舗装道新設工事(天美西工区その1)	151,095,000
	一般競争	南大阪湾岸流域下水道 北部水みらいセンター 水処理脱臭ダクト設備工事	47,250,000
	一般競争	一級河川 寝屋川 八尾広域防災基地調節池ゲート設備電動化工事	20,475,000
測量・ 建コン	一般競争	槇尾川流域森林現況調査(24)業務	6,720,000
	一般競争	二級河川 番川外 河川氾濫解析検討業務委託	15,781,500
委託役務	随意契約	緊急雇用創出基金事業(重点分野雇用創出事業)「合同企業説明会企画・運営型フリーター即戦力化事業」業務	139,968,000
	一般競争	大阪府建設 CALS システム用サーバ機器等(事業管理室)の賃貸借	545,994,540
	一般競争	淀川右岸流域下水道高槻水みらいセンター周辺環境調査業務(H24-1)	1,743,000
物品	一般競争	エックス線直接撮影装置の購入	11,025,000

- 6 審議の結果： 抽出した13件の処理状況は概ね適正であると認める。
- 7 委員からの質問とそれに対する回答： 別紙のとおり

(別紙)

質 問	回 答
<p>【高木地区(24)ほ場整備補完工事】</p> <p>○申込者32者のうち、辞退等応札しなかった者が27者もいるが、どう考えられるか。</p> <p>○失格者の3者が、いずれも最低制限価格よりかなり低い額で応札する一方、落札者の落札率は9.9%となり、応札価格が極端に2つに分かれているが、どう考えられるか。</p>	<p>○本工事は、ほ場整備事業の補完工事であり小規模な工事が27カ所にわたっていたことから、申込者が設計図書を確認したうえで、手持ち機械の状況や想定する利益率等を勘案し、応札しなかったものと考えられる。</p> <p>○すべての応札者について、工事費内訳書を調査したところ、適正な積算がなされていたものは、落札者のみであったことから、たまたまこのような結果になったものと考えられる。なお、昨年度に発注した別のほ場整備補完工事の落札率は、約78%程度となっている。</p>
<p>【東豊浦町地区山腹復旧ほか(24・奥地)工事】</p> <p>○申込者32者のうち、応札しなかった者が28者もいるが、どう考えられるか。</p> <p>○それらの施工環境は、予定価格には反映されるのか。</p> <p>○その条件の中で、失格となった3者の応札価格が最低制限価格よりもかなり低い、どう考えられるか。</p> <p>○入札参加資格の地域要件を、東大阪市のみに限定しなければ、もっと多くの応札者があったのではないか。</p>	<p>○工事内容が、山間で急峻な場所での山腹工事等であり、大型重機が使えない等、施工環境が厳しいことが影響し、応札者が少なくなったと考えられる。</p> <p>○施工環境に応じた機械類での積算を行ったほか、労務費についても施行場所に応じた割増単価を使用し適正に積算を行った。</p> <p>○他の応札者についても工事費内訳書を調査したところ、本工事において使用する木材について、指定した府内産材以外の一般的な木材で積算したのではないかと考えられる。</p> <p>○地元業者の受注機会確保の観点から、工事規模に応じ地域要件を設定している。本件では、地域設定を東大阪市のみとした場合であっても、参加可能な業者が50者以上あったことから、この設定とした。しかしながら、厳しい施工環境から、応札者が少なくなったと考えられる。</p>
<p>【都市計画道路 十三高槻線街路築造工事(正雀川東工区その2)】</p> <p>○申込者8者のうち、失格者が7者もいるが、どう考えられるか。</p>	<p>○最低制限価格付近の価格で応札した者は、受注意欲は高かったが、ランダム係数処理の関係で、最低制限価格を若干下回ってしまい、失格となったと考えられる。また、平成24年</p>

<p>○予定価格、最低制限価格が事後公表に切り替わり、業者の積算の精度が問われるようになっている。企業努力でコストを下げた者が失格となったケースであり、これからもランダム係数を含め制度を検討していく必要があると思う。</p>	<p>度から国の積算基準が改正され、社会保険に加入するための法定福利費を算入することになったが、それを応札価格に反映しているかどうか、微妙に影響しているかも知れない。結果的に受注意欲があまり高くなく、高い応札価格の業者が落札してしまった。</p>
<p>【堺泉北港 汐見沖地区埠頭保安対策設備工事】</p> <p>○申込者20者のうち、辞退者が18者もいるが、どう考えられるか。</p> <p>○保安施設の秘密保持の必要性から、本件を指名競争入札としたということだが、その観点で言えば、20者も指名してよかったのか。</p>	<p>○辞退者に辞退理由を聴き取りしたところ、本件で設置する現場の監視制御装置と、危機管理センターにある既設設備との連結に当たってのリスク等を勘案して、辞退したとのことである。</p> <p>○今回の20者は、これまで全国で同種の工事の実績があり、同時に、秘密保持についても実績を有するという事で指名した。</p>
<p>【都市計画道路 堺松原線舗装道新設工事（天美西工区その1）】</p> <p>○申込者18者のうち、失格者が16者もいるが、どう考えられるか。</p> <p>○入札要件で、府内業者と府外業者が共同企業体を組むこととなっているが、何故か。</p> <p>○これからも、共同企業体の要件をつけていくのか。</p>	<p>○最低制限価格付近で応札した者は、受注意欲は高かったが、結果的に下回ってしまった。提出された工事内訳書を見ると、一般管理費の部分で、府の積算より低く積算されていた。現地を確認して、工事がやりやすいと判断して、経費を削減したのではないかと推察される。</p> <p>○土木工事の中でも、舗装工事はかなり専門的な工事であるので、技術力が優れている府外業者のノウハウを、府内業者に吸収してもらう趣旨で、共同企業体を組むことを要件にしている。</p> <p>○将来的には、ある程度見直す時期は来ると思うが、現在はこの形で行っている。</p>

<p>【南大阪湾岸流域下水道 北部水みらいセンター 水処理脱臭ダクト設備工事】</p> <p>○本件は増設工事だが、元の基本設備はどこが施工したのか。</p> <p>○1回目の入札は予定価格内での応札がなく、2回目の入札で、落札業者が約500万円下げ、ほぼ予定価格で落札しているが、どう考えられるか。</p>	<p>○今回の落札業者である。</p> <p>○正確には分からないが、落札業者は受注意欲があったので、2回目には、利益がある範囲で一定金額を下げて応札したと思われる。</p>
<p>【一級河川 寝屋川 八尾広域防災基地調節池ゲート設備電動化工事】</p> <p>○本件の元の設備はどこが施工したのか。</p> <p>○98%と高落札率だが、落札業者は、システムとの関係で、他の者は応札しないだろうと考えて応札したとも思えるが。</p>	<p>○元の手動ゲートは別の土木業者が施工したが、水防災システムは本件の落札業者の親会社が設置した。</p> <p>○本件は、水門という部品を製作する工事が予定価格の7割を占めるものであり、今回は、システムの業者とは別の業者が施工している。落札率の高さについては、小規模の工事であることや、汎用品ではなく特注で設計・設置する必要があることなどが理由と考えられる。</p>
<p>【榎尾川流域森林現況調査（24）業務】</p>	<p>——</p>
<p>【二級河川 番川外 河川氾濫解析検討業務委託】</p> <p>○1回目の入札で、最低制限価格を下回った者は、2回目の入札には参加できないことになっている。最低制限価格を下回った者も予定価格を上回った者も圏外ということでは同じ。最低制限価格を下回った者についても、再度の入札に参加させてもいいのではないか。</p> <p>○最低制限価格は、ランダム係数処理を行っている。係数処理を行う前の金額の範囲には入っているのに、ランダム係数処理の影響で失格した者は、適正な施工が可能な額で入札した者であり、再度の</p>	<p>○最低制限価格は、その価格以下では適正な品質が確保できないとして定めた額で、その価格以下で入札した者はその時点で失格となる。予定価格をオーバーした者については履行が可能なので、利益等をもう一度見直してもらって再度入札していただくということである。</p> <p>○ランダム係数は情報漏えいを防止し、公正な入札を確保するための制度である。ランダム処理された額であっても、その額を最低制限価格として決めた以上は、地方自治法施行令上、その額をわずかでも下回れば自動的に失格となる。</p>

<p>入札に参加させてもいいのではないか。</p> <p>○適切な工事を確保できる本来の額は、ランダム係数処理前の数字。一方で、公正な入札のためにランダム係数処理をしている。どちらを優先するかということだと思うが、現在はランダム係数優先になっているということか。</p>	<p>○抽出事案は極めてレアなケース。現在のランダム係数の発生パターンは10パターンと少ないため、当てものになっている。このためシステム改修し、平成26年1月から101パターンに変更する予定。ランダム係数処理については、新しい処理になったときの動向も見ながら今後とも検討してまいりたい。</p>
<p>【緊急雇用創出基金事業（重点分野雇用創出事業）「合同企業説明会企画・運営型フリーター即戦力化事業」業務】</p> <p>○本件は、公募型の随意契約であり、手続はこれでよいと思う。大切なのは就職率はどうだったかという事業成果であるが、どのような状況か。</p>	<p>○現在、事業途中であるが、就職率の目標値である60%は概ね達成できる見込みである。事業終了後にも、どういう点が良かったか、良くなかったかなどを点検することとしている。</p>
<p>【大阪府建設 CALS システム用サーバ機器等（事業管理室）の賃貸借】</p> <p>○情報機器の更新の場合、これまでの機器との関連性で、更新前の業者が有利になることが多いが、本件はどうか。</p> <p>○今回は、機器、落札業者ともに変更になっているので、1つのよいケースであると思う。</p>	<p>○特定の業者しかできないプログラムの移行作業については、別途随意契約を行っている。本件の機器の調達に関しては、どの業者も同じ条件で参加できる条件設定としており、実際に、前回とは別のメーカーの機器となった。</p>
<p>【淀川右岸流域下水道高槻水みらいセンター周辺環境調査業務（H24-1）】</p> <p>○申込者3者のうち、2者が辞退しているが、どう考えられるか。</p>	<p>○辞退者に後日ヒアリングしたところ、他業務と時期的に重複することになり、業務体制が整わなくなったため辞退したとのことである。</p>
<p>【エックス線直接撮影装置の購入】</p> <p>○入札要件で、大阪府内に事業所があることとなっているが、何故か。修理のことを勘案しても、近畿圏くらいでよいのではないか。</p>	<p>○医療用の精密機器であり、故障の時には応急に対応してもらえる態勢が必要であり、府内の要件とした。</p>

○参加できる業者は府内で何者いるのか。

○大阪が大都市なので、たまたま3者とも府内に事業所があったが、もし、3者での中で一番価格が高い者しか、府内に事業所がなければ、そこから買うことになるのか。

○エックス線撮影装置の製造業者自体が、国内で3者であるので、範囲を広めても、状況は変わらないと考えられる。

○府内要件は、政府調達案件以外の物品調達について全てつけており、府内の経済に寄与することも考えた上での地域要件の設定である。本件の場合、幸い3者ともメーカーの直系の代理店が府内にあったが、もしなければ、どこかの代理店が取扱えるかを、事前に確認して入札を行う。また取扱いできることが確実にない場合は、案件に応じて府内要件をはずすという形で入札をしている。